

各位

2014年10月22日
公益財団法人 SBI 子ども希望財団

「子育て支援フォーラム in 広島
～子育ての応援とゼロ歳児からの子ども虐待防止を目指して～」
開催のお知らせ

公益財団法人 SBI 子ども希望財団（所在地：東京都港区、理事長：田淵 義久、以下「当財団」）は、公益社団法人日本医師会および一般社団法人広島県医師会と共同で「子育て支援フォーラム in 広島～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

記

「子育て支援フォーラム in 広島」開催概要

日時： 平成 26 年 11 月 29 日（土） 14：00～17：00
場所： 広島市文化交流会館 3 階「銀河」 広島市中区加古町 3-3
参加費： 無料（先着 200 名）
プログラム概要：

- 基調講演 : 「人口減少社会の克服 ～妊娠・出産から子育てへの切れ目ない支援システムの構築について～」
座長：今村 定臣（日本医師会常任理事）
講師：鈴木 俊彦（厚生労働省社会・援護局局長）
- シンポジウム : 1. 「医療機関で遭遇する児童虐待」
小西 央郎（中国労災病院小児科部長／広島県医師会次世代育成推進部会部会長）
2. 「発達障害と子ども虐待」
杉山登志郎（浜松医科大学児童青年期精神医学講座特任教授）
3. 「産婦人科医師から見た児童虐待 ～大阪府未受診妊娠調査を通して～」
光田 信明（大阪府立母子保健総合医療センター産科主任部長／大阪産婦人科医会理事）
4. 「子育て・子育て－虐待の親子関係から学ぶ－」
稲垣 由子（甲南女子大学人間科学部総合子ども学科教授）

詳しいプログラム、ご参加申込方法等は、別添資料もしくは下記よりご覧ください。

【子育て支援フォーラム in 広島 ～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～】

<http://www.med.or.jp/people/info/seminar/003323.html>

本フォーラムでは、増え続ける児童虐待について「社会全体としてどう取り組んでいけばよいか」というテーマを掲げており、児童虐待の現状をご理解いただくと共に、次世代の健全な育成を目指すという観点からも広く一般の方にもご参加いただきたいと考え、平成 23 年より毎年全国各地で開催し、多くの方にご参加いただいております。

当財団では、今後も、子どもたちが自分の可能性を追求し、将来立派に自立していけるような支援活動を目指し、子どもたちの入所施設の改善・充実はもちろんのこと、子どもたちの育成にも焦点を当てた活動を展開してまいります。

【公益財団法人 SBI 子ども希望財団 概要】

SBI 子ども希望財団は虐待を受ける等厳しい境遇に置かれた子ども達の福祉向上を目的に 2005 年 10 月に、SBI グループの社会貢献活動として設立され、2010 年 3 月に公益財団法人へ移行しました。児童福祉施設等への寄付や児童養護施設の職員を対象とした研修、施設退所後の子どもたちの自立支援のほか、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止啓発活動も積極的に行っています。

SBI 子ども希望財団のホームページ：<http://www.sbigroup.co.jp/zaidan/>

以上

.....

【お問い合わせ先】

本プレスリリースについて：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

子育て支援フォーラム、SBI 子ども希望財団の活動について：

公益財団法人 SBI 子ども希望財団 03-6229-1003

子育て支援フォーラム in 広島

子育ての応援と ゼロ歳児からの 虐待防止を目指して



子供の笑顔を明日へつなぐ。

イラスト 笹田 洋介
2014年度オレンジボン運動
公式ポスターコンテスト
SBI子ども希望財団賞受賞作品

参加費無料
先着200名

児童虐待は依然として増加傾向が続き、大きな社会問題となっております。特に死亡児の低年齢化、中でもゼロ歳児に集中していることが明らかになり、虐待による子どもの死亡を予防するためには従来の早期発見・早期対応に加え、その発生を予防する取り組みが必要です。次世代の健全な育成という視点から、一般市民等を対象としたフォーラムを開催します。

日時 平成26年 14:00
11月29日(土) 17:00

場所 広島市文化交流会館
※事前のお申し込みで託児施設がご利用いただけます。
【託児申込締切：11月21日(金)まで】

主催

公益社団法人日本医師会
公益財団法人 SBI 子ども希望財団
一般社団法人広島県医師会
中国新聞社

後援

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本小児科医会、広島県、広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会、広島県歯科医師会、広島県薬剤師会、広島県看護協会、広島県社会福祉協議会、広島県民生委員児童委員協議会、広島県小児科医会、広島県産婦人科医会、広島県保育連盟連合会、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、NHK広島放送局、RCC中国放送、全国児童養護施設協議会、全国母子生活支援施設協議会、全国乳児福祉協議会(予定)

参加ご希望の方は、裏面の申込書にご記入の上、郵便または FAXにてお申し込みください。

子育て支援フォーラム in 広島 子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

日時：平成26年11月29日(土)
14:00～17:00

場所：広島市文化交流会館 3階「銀河」
〒730-8787 広島県広島市中区加古町3-3
TEL：082-243-8881(代) FAX：082-243-8543

- ◆ 広電江波線舟入町駅下車、徒歩約9分
- ◆ 広電宇品線市役所前駅下車、徒歩約12分
- ◆ 広島バス 広島駅南口より24番吉島行きで約25分(加古町下車)



プログラム

司会：温泉川 梅代 (広島県医師会常任理事)

- 開 会 14:00
- 挨 拶 14:00～14:10
横倉 義武(日本医師会会長)、平松 恵一(広島県医師会会長)
- 基調講演 14:10～15:00
座長：今村 定臣(日本医師会常任理事)
講師：鈴木 俊彦(厚生労働省社会・援護局局長)
「人口減少社会の克服～妊娠・出産から子育てへの切れ目ない支援システムの構築について～」
- シンポジウム 15:10～17:00
座長：渡邊 弘司(広島県医師会常任理事)
(1)小西 央郎(中国労災病院小児科部長／広島県医師会次世代育成推進部会部長)
「医療機関で遭遇する児童虐待」
(2)杉山 登志郎(浜松医科大学児童青年期精神医学講座特任教授)
「発達障害と子ども虐待」
(3)光田 信明(大阪府立母子保健総合医療センター産科主任部長／大阪産婦人科医会理事)
「産婦人科医師から見た児童虐待～大阪府未受診妊娠調査を通して～」
(4)稲垣 由子(甲南女子大学人間科学部総合子ども学科教授)
「子育て・子育て一虐待の親子関係から学ぶ～」
- 討議
- 閉 会 17:00
田淵 義久(SBI 子ども希望財団理事長)

参加ご希望の方は、この申込書にご記入の上、郵便または FAX にてお申し込みください。

➔ はがき・Eメールによる
申し込みも受け付けております。

はがき・Eメールには必ず 1. 郵便番号 2. 住所 3. 氏名
4. 電話・FAX 番号を忘れずにご記入の上、お送りください。

申込締切：平成26年11月21日(金)必着

- ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ※参加確定者の発表は参加票の発送をもって代えさせていただきます。(11月中旬頃)
- ※フォーラム当日は、参加票を忘れずにお持ちください。

郵 送 〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16
日本医師会地域医療第3課 子育て支援係行

FAX **03-3946-2684**

E-mail gyakutai@po.med.or.jp

HP <http://www.med.or.jp>

お問い合わせ / 03-3942-8181 (日本医師会地域医療第3課)

参加申込書 子育て支援フォーラム in 広島
子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して [平成26年11月29日(土)開催]

住所	〒 -	電話番号	-	託児施設のご利用	有 ・ 無
氏名		FAX	-	託児人数	人
				託児年齢	才
住所	〒 -	電話番号	-	託児施設のご利用	有 ・ 無
氏名		FAX	-	託児人数	人
				託児年齢	才

※ボールペンでご記入ください。 ※参加希望者の個人情報、第三者に提供することはありません。
※3名以上の参加ご希望の方は、この用紙をコピーしてお申し込みください。

↓ FAX 送信 **03-3946-2684** ↓